

# 地域道路経済戦略研究会の 主な取組について(報告)

---

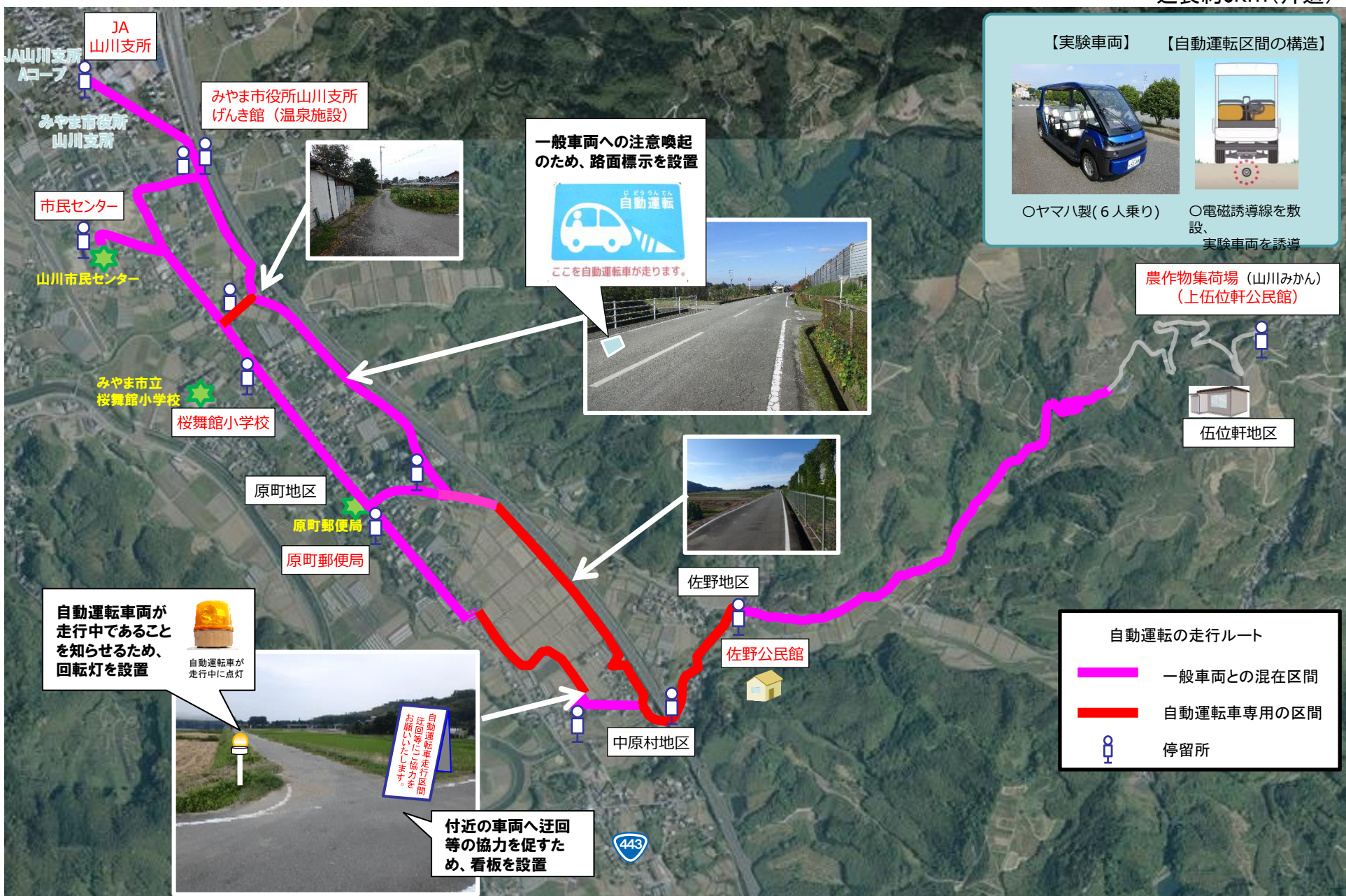
平成30年11月30日

実証実験	
H29年度 (2017)	<p><b>短期の実証実験(1週間程度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○主に技術的検証やビジネスモデルの検討</li><li>○全国13箇所を実施(総走行距離:約2,200km 参加者:約1,400人)</li></ul>
H30年度 (2018)	<p><b>長期の実証実験(1~2か月程度)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○主にビジネスモデルの構築</li><li>○H29年度に実験を実施した13箇所のうち、車両調達の見通しやビジネスモデルの検討状況等を踏まえて、準備が整った箇所から順次実施</li><li>○翌年度以降の早期社会実装を目指す (平成30年度は5~6箇所程度)</li></ul> <p>※この他、H29年度のFS箇所のうち、地域での検討の熟度に応じて、順次実証実験を検討</p>

**「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの2020年までの社会実装を目指す**

# 実証実験ルート(福岡県みやま市の実証実験の例)

延長約6km(片道)



【実験車両】

【自動運転区間の構造】

○ヤマハ製(6人乗り)

○電磁誘導線を敷設、実験車両を誘導

農作物集荷場 (山川みかん) (上伍位軒公民館)

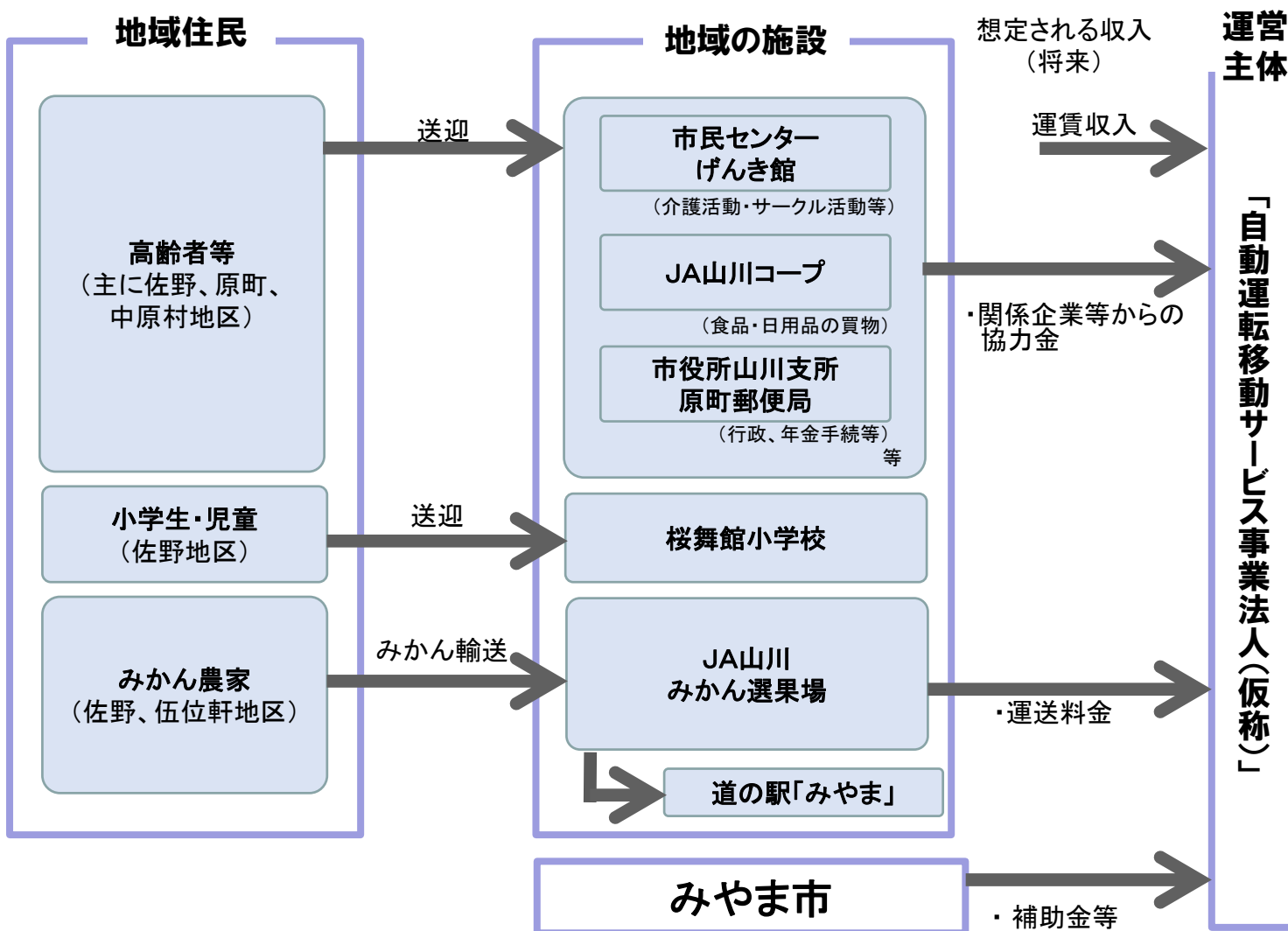
伍位軒地区

自動運転の走行ルート

- 一般車両との混在区間
- 自動運転車専用の区間
- 停留所

# 自動運転サービスのビジネスモデル(福岡県みやま市の実証実験の例)

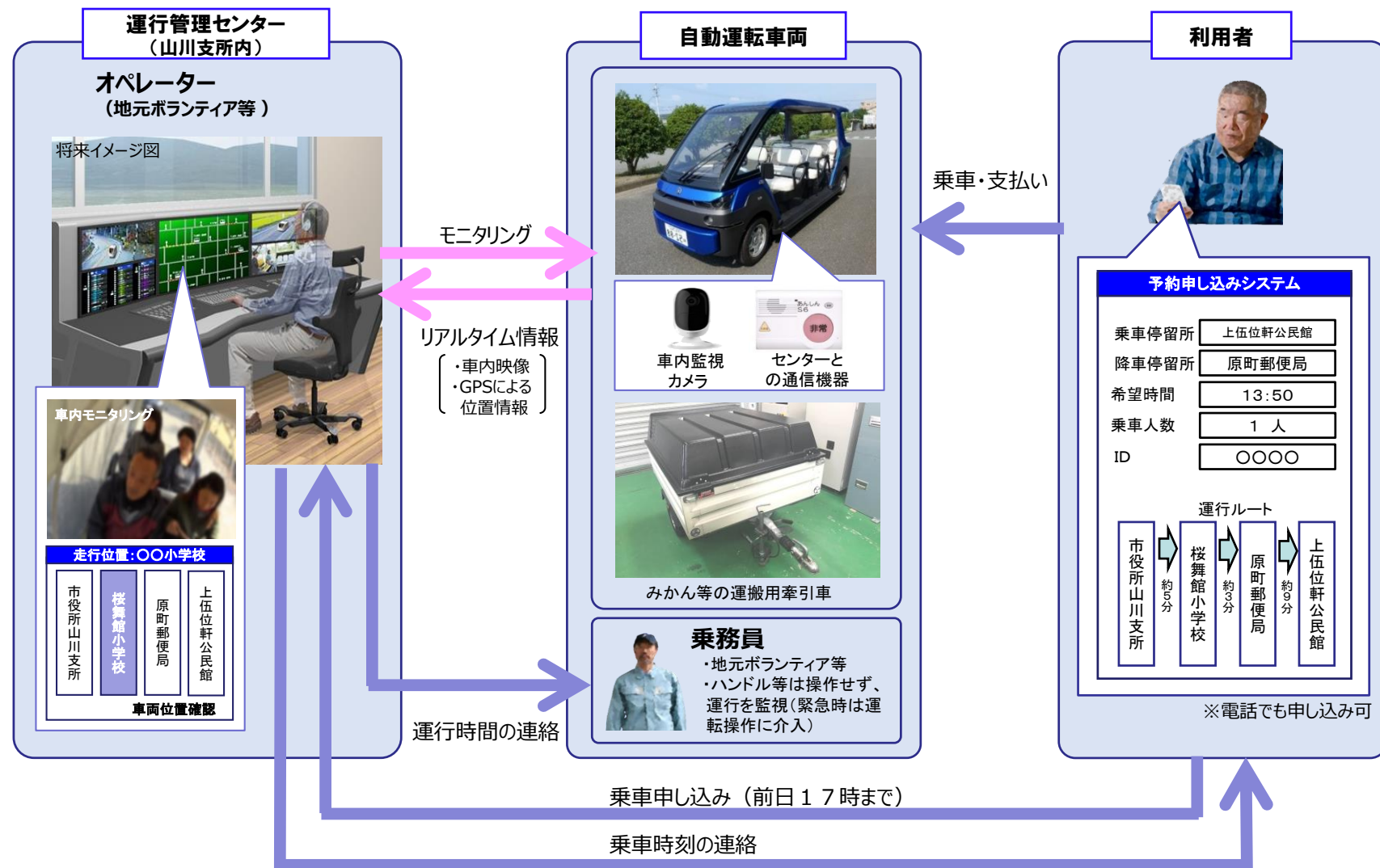
- 高齢者等の送迎による外出機会(買物等)の増加を通じた関係企業等からの協力金や、介護活動等の実施による自治体からの補助金等による支援
- 地元特産の「山川みかん」の輸送による輸送料金の徴収





# 自動運転サービスの運行管理システム(福岡県みやま市の実証実験の例)

- みやま市役所山川支所内に運行管理センターを設置、車両からのリアルタイム情報をもとに運行状況をモニタリング。
- 利用者の申し込みに応じて運行するデマンド運行方式。利用者は、スマホや電話等を通じて乗車を申し込み、運行管理センターが利用者に乗車時刻を連絡。みかん輸送時も同様の方法で運行(運搬用の牽引車の活用)。



# 訪日外国人観光客レンタカーピンポイント事故対策

急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、レンタカー事業者や警察、観光部局と連携しながら、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用して、外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を講じる。

### ETC2.0等の急ブレーキデータ

### 外国人特有の事故危険箇所の特定

### レンタカー事業者の事故発生データ

### カラー舗装やピクトグラムを活用した標識

### ピンポイント事故対策 多言語注意看板

### 多言語パンフレット

事故の多い箇所を注意するパンフレットをレンタカー窓口で配布

外国人のレンタカー利用の多い空港※を中心とする5地域で平成29年秋から順次取組を開始

※ 新千歳空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港、那覇空港

# 【福岡】大分自動車道におけるピンポイント事故対策結果

## 平成29年度実験概要

○平成29年12月から韓国語と中国語の簡易情報板の設置やレンタカー貸出時、外国人の立ち寄りの多いサービスエリアでのチラシ配布により注意喚起を実施。

### ◆簡易情報板による注意喚起

- ・急ブレーキ多発区間に2基設置
- ・韓国語・中国語(繁体)とピクトグラムを1秒間隔で交互に標示

#### 【①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部】



#### 【②玖珠SA(大分方面)入口部】



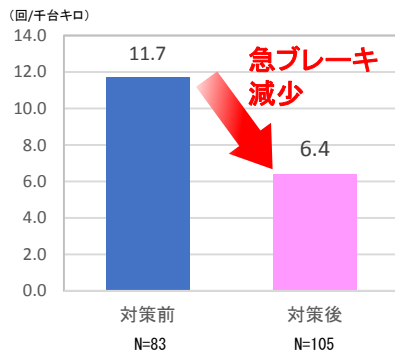
### ◆注意喚起チラシの配布(中国語版)

## 平成29年度実験結果

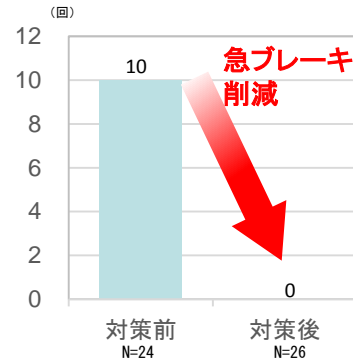
○対策実施により、速度低下や急ブレーキの減少が確認された。平成30年9月中旬より本設置。

### ◆急ブレーキ対策区間の効果

#### 【①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部】

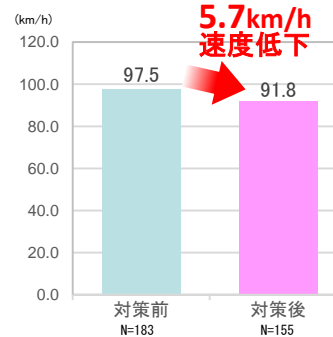


#### 【②玖珠SA(大分方面)入口部】

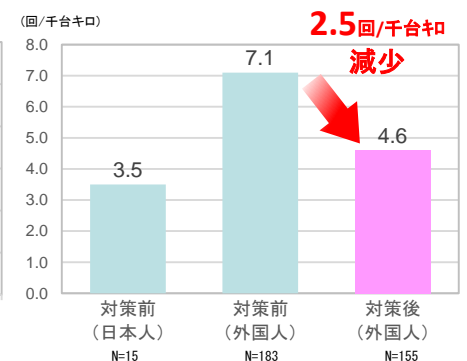


### ◆大分道全体(鳥栖JCT～別府IC)の効果

#### 【平均速度の比較】



#### 【急ブレーキ回数の比較】





# 【新千歳】①R36×道道早来千歳線(美々駒里大通)交差点のピンポイント事故対策(案)

## ● 道道早来千歳線沿道のレンタカー会社を出発し、高速道路ICへ向う外国人レンタカーが最初に通る大きな交差点

### 【想定される要因】

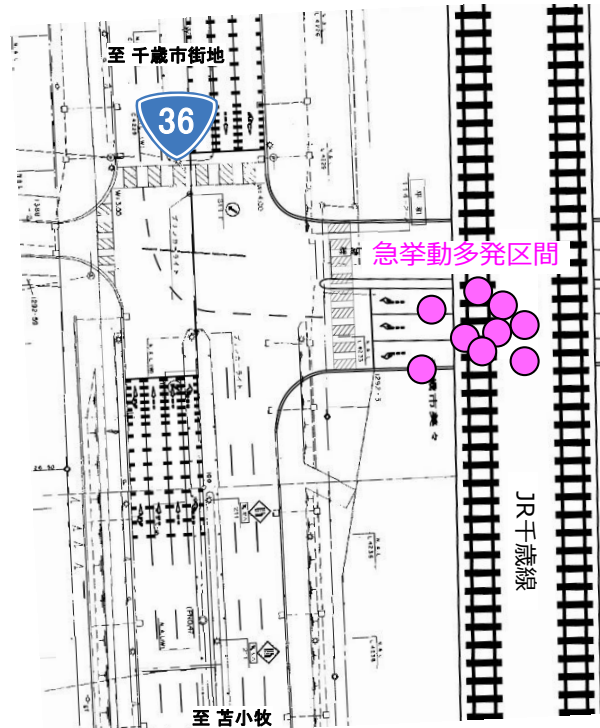
- ・ 構造物とサグ(※)により見通しが悪く、**信号交差点の視認性が悪い**
- ・ 片側3車線道路であり、**高速道路ICの方向が分らず無理な車線変更による急挙動が発生**



### 【対策】

- ・ 事前周知として、レンタカー会社への**チラシ配布**
- ・ 高速ICへの案内や**注意を促す仮設看板**を設置

※サグとは、下り坂から上り坂に差しかかる凹部のこと。



凡例  
● 急挙動発生地点



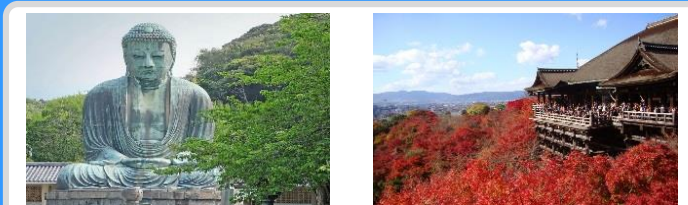


# 観光地渋滞対策の推進

訪日観光客の増加



## 観光地域



※地域公募(H29)により選定(鎌倉、京都等)

頻発する交通渋滞



### 自動車

<渋滞・事故の解消>

- 交通需要マネジメント(TDM)
- 信号制御、交通規制 等
- パーク&ライド駐車場整備 等

### 歩行者

<周遊環境の改善>

- 観光施設の混雑情報提供
- 歩きやすい道路空間への再編
- 多言語による案内表示 等

### 公共交通

<利便性の向上>

- 乗換情報・位置情報の提供
- シャトルバスの運行
- 自動運転車の活用 等

共通情報基盤(産学官連携)

ETC2.0等を活用した情報収集・制御



AIを活用した分析・予測

# 鎌倉エリア観光渋滞対策について

## 鎌倉市の現状

- 鎌倉市には年間2,000万人を超える観光客が来訪。
- 鶴岡八幡宮、鎌倉大仏等の観光地周辺で休日を中心に著しい交通渋滞が発生。



## 鎌倉市の提案

### これまでの主な取組

パーク&ライド

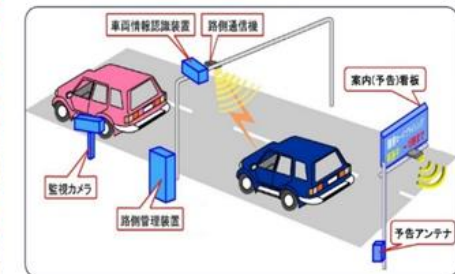
シャトルバス運行

バス専用レーン

鎌倉フリー環境手形



## 鎌倉ロードプライシング(仮称)



ETC2.0等を活用した交通分析や課金の仕組み等を検討

## 2020年の導入を目指す鎌倉市の取組みに対して支援

(観光交通イノベーション地域として選定し、有識者や国・県・市など関係者からなる協議会等で検討)



# 新たな機器の設置(設置位置図)

- 3月以降、鎌倉地域内で順次、観測機器を設置。
- 10月現在、ETC2.0可搬型路側機を2箇所、カメラを8箇所を設置し、データ収集中。





# 「新たな広域道路交通計画」の策定について

## I 今後の道路計画の主な課題 （現計画※はH6策定、H10以降未改定） ※広域道路整備基本計画

- 新たな社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化や、ICT・自動運転等の技術の進展を見据えた**未来志向の計画**が必要。

### 新たな国土構造の形成

- ・ スーパーメガリージョンの実現
- ・ 中枢・中核都市等を中心とする地域の自立圏の形成 等

### グローバル化

- ・ インバウンドへの対応
- ・ 国際物流の増加への対応 等

### 国土強靱化

- ・ 災害リスク増大への対応
- ・ 代替機能の強化の必要性 等

各交通機関との連携強化

ICT活用・自動運転社会への対応

## II 新たな広域道路交通計画の策定

- 各地域において**中長期的な観点からビジョン、計画**を策定（定期的に見直し）

「**平常時・災害時**」を問わない「**物流・人流**」の確保・活性化

(1)

**広域道路ネットワーク  
計画**



(2)

**交通・防災拠点  
計画**



(3)

**ICT交通マネジメント  
計画**

重要物流道路の指定・地域高規格道路等の広域道路ネットワークの再編 等